

レポート課題では 評価の観点を明確に

期末試験をレポートに切り替える際のヒント

▶目次

1. はじめに～公正な成績評価を見据えて	3
2. レポートの評価基準を受講生に提示するメリット	4
3. シラバスの記載の変更についても告知する	5
4. レポートを評価する観点の例	6
5. 受講生がどのようなレポートを書けばよいかイメージできる	10
6. オンライン授業に関する相談先	11

1. はじめに～公正な成績評価を見据えて

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う教育研究活動の実施方針」に定めるフェーズが「フェーズ2」に引き上げられたために、第2学期の期末試験を対面で実施することが困難な状況となっています。

これを受けて、対面による期末試験を「レポート課題」に変更する先生方もおられると思います。

このTipsは、レポート課題の評価について、どのような配慮をすれば、より公正で厳正な評価に近づくことができるかを理解していただくために作成しています。

本年度、第1学期の成績評価については、「期末試験をレポートに変更したことで、優以上の評価が50%を越える授業科目が増加した」との報告が、複数の学部等からありました。

学生の学修機会を確保するために、やむを得ずオンライン授業を実施し、成績評価のウェイトの多くをレポート課題が占めることは緊急避難的措置ですが、そのような事態にあっても、**公正で厳正な学修評価**を担保するように努めることは、受講生の学修にとって大きな利益となります。

2. レポートの評価基準を受講生に提示するメリット

通常の授業でも「期末レポート」等で成績評価を行う場合がありますが、その場合も同様に、レポートの評価基準／評価指標を受講生に提示してください。そうすることで、

受講生は、どのような観点を満たしていれば、どのくらいの成績評価が得られるのかについて、事前に理解することで、レポートの内容や構成を明確にすることができます。

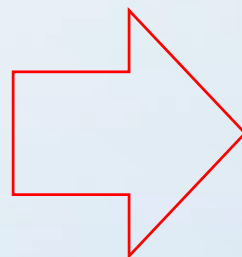
教員は、レポート課題を漠然と評価するのではなく、評価の観点ごとに評価点をつけ、その積算としての成績評価が可能となります。

3. シラバスの記載の変更についても告知する

シラバスに記載した成績評価に関する方法を変更する場合もあるかと思えます。これについても、授業中に受講生に提示してください。

例) 変更前

授業時の提出物 : $2\text{点} \times 15\text{回} = 30\text{点}$
中間レポート (1回) : 20点
期末試験 : 50点



例) 変更後

授業時の提出物 : $2\text{点} \times 15\text{回} = 30\text{点}$
中間レポート (1回) : 20点
期末レポート : 50点

通常の授業でも、複数の成績評価方法を採用することは、多面的な観点からの評価が可能となるとともに、今回のような非常時の変更の場合、選択肢が多くなるので対応しやすくなります。

4. レポートを評価する観点の例ー 1

学問分野やレポートのテーマによって、評価の観点は異なります。
4つの事例を紹介します。

沖裕貴「レポートの採点用ルーブリックの例」

(引用者註) ルーブリックの具体的記述は記載していません。また、配点については原拠のものを変更しています。

取り上げたテーマに関して自らの考えを述べている。(20点満点)

根拠に基づき、論理的な説明ができています。(15点満点)

引用文献、参考文献を巻末に明示し、自らの意見と区別している。(5点満点)

誤字脱字がなく、段落も明確で、読みやすい文章となっている。また、レポートの体裁(要約、図表の番号、章・節の番号、分量)が適切である。(5点満点)

「だ・である」体で統一して書かれている。(5点満点)

沖裕貴「大学におけるルーブリック評価導入の実際ー公平で客観的かつ厳格な成績評価を目指してー」(一部改変)
立命館高等教育研究 14号

4. レポートを評価する観点の例ー2

小レポート課題の第二段階ルーブリック（減点法）

（課題例）あなたは、日本の子どもたちの学力や学習意欲が低下した原因には、学習指導要領を除いてどのようなものがあると考えますか？ 3つ考えられるものを挙げ、その理由を述べてください。

1. 3つ原因が挙げてあり、その理由が述べられているか

—1つしか挙げていない＝2点減点

—2つしか挙げていない＝1点減点

2. 原因について深く考察できているか

—授業で取り上げたものを反復してあるだけ＝1点減点

—理由がいい加減であったり、一人よがりの見解が書いてある＝1点減点

3. 論理構成と書き方が適切か

—誤字脱字が多い＝1点減点

—字が読みづらい＝1点減点

—段落がない＝1点減点

—論旨が不明確である＝1点減点

—だ、である体で書かれていない＝1点減点

4. レポートを評価する観点の例ー3

評価基準	得点
有理数の定義の記述	5・4・3・2・1
割り切れて有限小数になる記述	5・4・3・2・1
割り切れないときの無限性と余りの値	5・4・3・2・1
余りは有限個となる記述	5・4・3・2・1
同じ余りが出ることの記述	5・4・3・2・1

酒見康廣「Excel マクロを用いたルーブリック評価入力の効果」（一部改変）

4. レポートを評価する観点の例ー4

	A 基準	B 基準	C 基準	D 基準
予想 仮説	<ul style="list-style-type: none"> 仮説まで高めた記述としている 	<ul style="list-style-type: none"> 既に学習したことをもとに理由を明確にして予想を記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考えて予想はできているが理由（根拠）が不明確である 	<ul style="list-style-type: none"> 予想を記述できていない。
方法 手順	<ul style="list-style-type: none"> 薬品の分量や濃度などを記述している。 安全上、器具操作上の注意を記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 実験の準備や方法、手順を図や表を用いて見易く記述している 検証ができている実験方法が記述されている 	<ul style="list-style-type: none"> 記述しているが、方法や手順が一部適切でない 	<ul style="list-style-type: none"> 準備、方法、手順を記述できていない
結果	<ul style="list-style-type: none"> 結果に適した表やグラフを用いて記述している 実験誤差などを考慮し、複数回の実験結果を記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 結果（事実）を言葉や数値で記述している 表やグラフを用いて記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 記述しているが、結果を整理できていない 表やグラフを用いて記述していない 	<ul style="list-style-type: none"> 結果を記述できていない
考察	<ul style="list-style-type: none"> 予想と結果の対比だけでなく、課題や目的に対する答えや結論を記述している 	<ul style="list-style-type: none"> 予想と結果の関連について記述している 結果を比較・分類・関連付けして考察している 	<ul style="list-style-type: none"> 記述しているが、考察に不備がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 考察を記述できていない

栗原淳一・二宮一浩

「ルーブリックの提示方法の違いが理科実験レポートの記述に及ぼす影響」

群馬大学教育学部紀要 自然科学編 第 62 巻 2014 年

5. 受講生がどのようなレポートを書けばよいかイメージできる

〇〇学概論 レポート提出要領

課題：〇〇の起源とその後の展開について記述し、その社会的意義を説明しなさい。

体裁：Wordファイル／A 4 サイズ／横書き（40字×36行／ページ）

分量：2000字以上

提出期限：●月●日 17:00

提出先：moodleの所定の提出先

評価の観点：

レポートの評価について、複数の評価の観点と、配点や点数配分などを明示することで、受講生は、どういうレポートがよいレポートであるかイメージしやすくなり、極端に的外れなレポート、採点しにくいレポートが減少します。

採点の際には、評価の基準や観点がぶれることがなくなり、メリハリのある評価が可能となります。

6. オンライン授業に関する相談先

オンライン授業をはじめとした授業に関する相談をTeamsの「授業よろず質問箱」チームで随時受け付けています。Teamsマニュアル等、オンライン授業に役立つ情報もまとめているので、ぜひご活用ください。

グループウェアの掲示板に、「授業よろず質問箱」への参加方法等について詳細を掲載しています。グループウェアの検索欄に「授業よろず質問箱」と入力して検索してください。

▶投稿日：2020年7月30日 タイトル：高知大学「授業よろず質問箱（教員用）」（ご案内）

The screenshot shows the Groupware interface. At the top, there is a navigation bar with various icons. The '掲示板' (Bulletin Board) icon is highlighted with a red box. Below the navigation bar, the '掲示板' (Bulletin Board) section is active, showing '教職員用掲示板' (Faculty Bulletin Board). A search bar is visible, containing the text '授業よろず質問箱' (Search for '授業よろず質問箱'). A red arrow points from the search bar to the search results. The search results show a post titled '高知大学「授業よろず質問箱（教員用）」（ご案内）' (Kochi University '授業よろず質問箱 (Faculty Use)' (Guidance)). A red arrow points from the search bar to this post. The text '検索！' (Search!) is written in red next to the search bar.

チームへの参加が難しい場合は、下記のメールからのご相談を承っています。

大学教育創造センター（授業よろず質問箱） <daikyo-ts@kochiuacjp.onmicrosoft.com>